



▲団体資源回収



吉住 龍太郎 議員

吉住 今年度、集団資源回収奨励金が781万円の削減に至っているが、その内容は、**生活環境課長** 昨年12月に吉住議員が一般質問され、古紙並びに状況が回

財政改革

補助金のあり方

答弁…段階的に見直す

復してきたので古布以外の新聞、段ボール、雑誌、チラシ類につきましては業者に対する補助金のうち、古紙類については600万円を0にしている。

三役の退職手当は問題
答弁…退職金カットなし

吉住 三役の退職金(4年毎)は財政改革に於て、一番身近な問題であるがカットすべきではないか。
町長 今私どもがしなければならぬのは、行政改革に取り組みと同時に、その中でやはり自分がいただいている以上の仕事をすることであり、私がいろいろカットしたりすると、ほかの方にも影響する。



助村 千代子 議員

予防の取り組みから

医療費削減

答弁: 状況を見て検討する

助村 高齢者の死亡の原因の一つ(第4位)が肺炎、肺炎球菌ワクチンの予防接種に助成金を。
町長 全国で51の市区町村でワクチンの接種費用に対する公費助成金を実施。



▲夏を涼しく、緑のカーテン(館林市 第五小学校)

身近な地球温暖化対策を
答弁…役割を果たしたい

今後検討する。
助村 胃潰瘍や胃がんの原因とされるヘリコバクターピロリ菌の検査、除菌も簡単に行える。
基本健診に加えてピロリ菌の除去の取り組みを。
健康課長 九大が粕屋町でモデル研究を行っているのでその結果を見て進めたい。
町長 来年の予算に壁面緑化の施策を盛り込み、公共施設も取り組みの実行段階に移りたい。
その他の質問
○子どもによる子どもの権利条例のパンフレットを

地域分権

町長の決意を問う

答弁…しっかりと取り組む



吉田 耕二 議員

人材育成への取り組み
答弁…力を尽くしたい



▲みんなで明るい地域づくり(鏡町内会)

吉田 地域分権は、広域合併とは表裏一体。地域でできる事は地域にまかせる。
このシステムを構築する必要がある。
町長 合併によってそれぞれの地域が今まで以上に輝くような、そういう努力をして行かなければならない。
6項目の推進方法を掲げている。
今からしっかりとした取り組みをして行く。

吉田 合併の目的は、自治体間の競争を勝ち抜く人材の確保と思う。人材育成、評価制度の

整備が必要では。
町長 人材育成の基本方針を定め、可能性を最大限引き出す事を目的として、新しい時代の人材育成に力を尽くす。
どのような評価制度を導入するかは、今後検討して行きたい。
その他の質問
○全国学力テストについて

臓器移植

保険証に表示欄を

答弁: 4月から実施する



大西 勇 議員



▲望まれる提供者の増加

大西 肝臓移植を必要とする患者は毎年千人から二千人が亡くなっている。人工透析の患者も毎年ふえている。
臓器提供をする方が多くなれば、移植を希望する患者が一人でも多く助かる方向に進む。
その啓発運動としてぜひ実施すべきだ。
町長 祈る思いで移植をまつている方々に情報の提供をする。臓器提供の意思表示欄を設けた新たな保険証を発行する。
財政健全化計画の推進
答弁…計画を立てるべき

大西 財政計画の指標、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率

率、将来負担比率の策定をどうするのか。
また、実質公債費比率に数値目標を設定すること、今以上新たな借金、起債を起こさない等、予算統制をするべきだ。
町長 数値、計数をしっかりと把握し健全な体づくりをしていく。また、議会と一体となって厳しい時代を乗り切っていくべき。